



12月号
(第440号)

武庫川女子大学
附属中学校・高等学校
総務部



この世はうらめしい。けど、すばらしい

教頭 野津 義輝

久しぶりにNHKの朝の連続テレビ小説『ばけげん』を見ています。仕事を終え、家に帰って録画しておいたこのドラマを見るのが私の日課になっています。ドラマを見始めた理由は、私の生まれ故郷である島根が舞台のドラマだからです。それと出雲地方では珍しくはないのですが、私と同じ「野津」という名前の登場人物がドラマに出てくることも理由の一つです。ドラマの主人公（ヘブンとトキ）のモデルとなったのは「耳なし芳一」や「雪女」などが収められた『怪談』の作者である小泉八雲（ラファディオ・ハーン）とその妻セツ（節子）です。八雲は地元では「へるんさん」という呼び名で親しまれています。オープニングの映像は物語の舞台である松江の名所、宍道湖や小泉八雲旧居、松江城のお堀にかかる宇賀橋や月照寺などです。それぞれの場所が撮影された二人の仲むつまじい姿とバックに流れるのんびりとした主題歌が私の一日の疲れを癒やしてくれます。

『ばけげん』というタイトルは、八雲の著書である『怪談』から来ていると想像できます。怪談と聞くと皆さんは幽霊やお化け、おどろおどろしい妖怪やもののけなどが登場する物語を想像することでしょう。私が最初に『怪談』を読んだのは小学校の三年生くらいでした。小学生の頃は一つひとつの物語を読み終えるたびに、その場面を想像してしまい怖さや震えたことを記憶しています。このドラマをきっかけに久しぶりに『怪談』を読み返しました。時を経て読み返してみると『怪談』はただ単に幽霊やお化けが登場し、読者に恐怖心のみを与える物語ではなく、夫婦や親子の絆、人間の強欲に対する戒め、人の心の弱さや温かさ、そして人と人との愛情を描き伝える物語であることに気づかされました。『怪談』に収められている一つひとつの物語は短く、わずかなページの中に八雲の人に対する深い見方や外国人でありながら日本人でさえ気がつかないような日本の美を卓越した文章力からうかがい知ることができます。まだ読んでいない一冊です。

さて、このドラマのキャッチコピーは「この世はうらめしい。けど、すばらしい」です。「うらめしい」とは「うらむ」から派生した形容詞で、多くの人はこの言葉に、あまりいい感情を持たないと思います。私たちは普段生活をしていて、毎日自分の思い通りに物事が運んで楽しいと思えることばかりではありません。どちらかというと悩むことの方がはるかに多いかもしれません。人に対して怒ったり、不信感を抱いたり、それこそ「うらめしく」思うこともあるでしょう。それでも人生はすばらしいと、このドラマは謳っています。『ばけげん』の主題歌「笑ったり転んだり」の歌い出しは「毎日難儀なことばかり 泣き疲れ眠るだけ」というネガティブな歌詞で始まります。難儀とは苦しみ悩むこと、苦労するという意味です。しかし、私はこの歌が大好きで特に歌の最後、「落ち込まないで諦めないで 君のとなりを歩くから 今夜も散歩しましょうか」という歌詞が胸に入ります。一人で思い悩み人生を歩くのはとても難儀です。どんなに強い人であっても、一人きりで生きていくことはできません。自分に寄り添って一緒に歩いてくれる人がいる、そして自分もしんどそうな誰かに声をかけて一緒に歩いていく。そんなお互いを思いやる関係がたくさんの人と結ぶことができるから、すばらしいなと思っています。最後に私はこのドラマを、武庫川女子大学に入学した皆さんが中学、高校での三年間あるいは六年間どのように「ばけ」で、言葉をかえる人としてどう「成長」していくのか、そんなことを思いながら毎日楽しく見えています。

クリスマス点灯式

十一月二十日（木）放課後、本校セミナー棟のミの木の前で、オーケストラ部とコーラス部による恒

例のコンサートとクリスマス点灯式が行われました。今年も、残念ながら附属幼稚園の園児は参加できませんでしたが、あたたかい雰囲気の中でのコンサートとなりました。

クライマックスでは、「皆様ができるクリスマスを通して、皆様が願います。皆でモミの木に魔法をかけましょう。」という声とともに点灯され、会場から大きな拍手が起きました。

参加していた生徒たちからは「初めてでもきれいで楽しかった。」「演出が素晴らしい。」「クリスマスを感じました。」といった声が寄せられました。セミナー棟はしばらくの間、クリスマス一色の装いとなっています。



英語オラトリカルコンテスト

十一月十五日（土）本校にて、第四十一回武庫川学院英語オラトリカルコンテストが行われました。衣笠さん（高3）の司会で、出場した生徒たちが日頃の学習の成果を生かし、堂々としたスピーチを披露しました。

中学の部 暗唱

優勝 奥田 奈々海（中1）
準優勝 倉内 結愛（中3）

高校の部 スピーチ

優勝 中村 莉子（高2）
準優勝 近藤 真希（高3）



中学の部 優勝 奥田 奈々海

This was my first time joining an oratorical contest in front of many people. I joined as a representative of the 7th graders with another student who takes the same music lessons as I do. We were both very nervous, but we felt we did our best. In the end, I was able to win first place in the junior high school division. I was so happy to receive the trophy. I was able to win thanks to the support of my teachers, friends, and family. Thank you so much.

高校の部 優勝 中村 莉子

It's an honor to get first place at the 41st Oratorical Contest. It was actually one of my dreams to stand there and give my speech. I was glad that it proved the progress of my English from studying abroad in Canada for a year. This experience will definitely encourage me to be more confident and not to give up anything. I'm so grateful for my family's support. And I'm already excited about what I will try and experience in the future.

引継式〜常任委員会から生徒会執行部へ

十一月十八日（火）、令和七年度常任委員会から、令和八年度生徒会執行部への引継式が行われました。高校三年生の各代表からは、一年間の振り返りと感謝の気持ちを伝えました。

常任委員会を終えて 常任委員代表 中田 杏奈

一年間、常任委員として活動する中で、最初は分からないことも多く、不安や緊張を抱えながら会議に参加していました。しかし、委員会を重ねるうちにメンバーとの絆が深まり、前向きに取り組めるようになりました。とくに武庫フェスの準備では思うように進まず苦労しましたが、放課後に仲間と協力しながら少しずつ形になっていくことができ、成功した時の達成感は大きなものとなりました。振り返ってみると困難もたくさんありましたが、先生方や仲間の支えのおかげで最後までやり遂げることができました。この経験は私にとって大きな力になりました。



これからは体制も新たに生徒会が学校を引っ張っていきます。大変なこともあると思いますが、その経験が必ず皆さんの成長につながります。私たちができなかったことにも挑戦し、学校をより良くしていくてください。これまで支えてくださった先生方、仲間の皆さん、本当にありがとうございました。

新生徒会始動 生徒会会長 杉本 桜永遠

これまで学校を支えてくださった常任委員会の先輩方に、心から感謝しています。私たちは、その想いや功績をしつかり受け継ぎながら、少しずつでも学校を良くしていきたいと思っています。



生徒会として大切にしていきたいのは、皆さんの声にきちんと耳を傾けることです。まだまだ未熟な私たちですが、温かく見守っていただけると嬉しいです。学校をもっと良くしていくために、皆で力を合わせて頑張っていきたいと思っています。どうぞよろしくお願ひします。

